



「自分の物より友だちの物を大切にする？」

あるクラスで「友だちの物は、大切にみつかるよね」と言葉かけすると「どうして？」という声が戻ってきました。「自分の大切なものを乱暴に使われるとイヤでしょ？」と返すと「それはイヤだ」と答えてくれました。

子どもたちの生活の様子を見つめていると、「友達から借りたものは、自分の物よりも丁寧に大切にみつかる」「自分の物も友だちの物も同じように大切にみつかる」という心を養っていくことの大切さを強く感じるがあります。モノがあふれるこの時代に、楠小でも、だれも取りに来ない「新品同様の落とし物」があります。友だちから借りたものを雑に使っている姿も見られます。机や壁に落書きがあったり傷がつけられたりすることも残念です。

心の様子は、その子の言葉や行動にあらわれます。気持ちが落ち着いているときにはできていても、心がモヤモヤしたりイライラしたりしているときには、モノの使い方や友達に対する言葉も乱暴になりがちです。低学年では「チクチク言葉ではなく、フワフワ言葉をふやそう」という取組がよくなされます。

ていねいな言葉遣い・美しい言葉遣いをすると、心が落ち着いてくるものです。同じように、自分の物や友だちの物、学校の物を大切に使う行動が増えてくると、相手のことや相手の気持ちを大切にしようとする心が育ってきます。ご家庭でもお子様の物の使い方や言葉遣いが気になることがあると思います。それはお子様の心の様子を見つめる良き機会になると思います。学校でも子どもたちの言葉づかいや物の使い方に目を配りながら、心の成長につなげていきたいと思えます。



今年も「読み聞かせ」始まりました！

4日（木）に今年初めての読み聞かせ活動が行われました。保護者や元保護者、地域の方々のご協力で読み聞かせ活動を行っています。学年に応じた絵本などを上手に読み聞かせてくださるので、子どもたちの目はキラキラ輝いています。熊本の昔話や外国の絵本などなど、お話の世界に惹きこまれる素敵な時間になっています。

子どもの頃に出会ったお気に入りの絵本は、大人になっても忘れないものです。この日も、すべての教室で、子どもたちと絵本の素敵な出会いが生まれていました。読み聞かせにご協力いただいた方々に、心から感謝申し上げます。



【 各学級での読み聞かせの様子 】